

長野県観光振興審議会 資料

【長野県観光の現状】

観 光 部

1 戦略の位置付け

平成30年度から始まる「しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画)」を具現化するため、県としての「稼ぐ」観光地域づくりに向けた県全体の取組の方向性を明確にするとともに、県民、市町村、DMO、観光関連事業者等と互いに協働して取り組むための指針

2 対象期間：2018年度(平成30年度)～2022年度までの5か年間

3 施策展開の方向

【第Ⅰ章観光の担い手としての経営体づくり】

戦略推進本部と県観光機構は連携して広域型DMO・DMCの形成と将来を担う人材の育成を行うとともに、県観光機構は組織体制を充実強化します。

- ◆ 「広域型DMO・DMC」の形成・確立
- ◆ 県観光機構が広域型DMO・DMCの形成や観光地域づくりの課題・将来像に積極的にコミットできるよう組織体制を充実強化
- ◆ 観光地域づくりの視点からの「まちづくり」の推進と支援体制の構築
- ◆ 暮らす人も訪れる人も参画する「学び」を重視した観光地域づくりの推進
- ◆ 総合産業としての観光を担う人材の育成・確保
- ◆ 県観光部の役割の明確化

【第Ⅱ章観光地域としての基盤づくり】

地域の多様な主体が参画して地域のストーリーに従い、「稼ぐ」基盤となるまちづくりや二次交通・情報インフラの充実、観光ブランドの形成に取り組めます。

- ◆ 地域の持続可能な自立を目指す「稼ぐ」基盤づくり
- ◆ 世界からのアクセスを円滑にする交通インフラの整備と二次交通の充実
- ◆ 最先端の技術を活かした世界水準の情報インフラづくり
- ◆ 信州の強みを最大限発揮する観光ブランドの形成・確立
- ◆ 本県観光の新たな付加価値を生み出す「学びツーリズム」の確立
- ◆ 地勢や環境を活かした大規模イベントの開催やフィルムコミッション・スポーツコミッションの推進
- ◆ 安全・安心で楽しい登山環境の確立

【第Ⅲ章世界から観光客を呼び込むインバウンド戦略】

本格的なインバウンド先進県となるべく、ハード・ソフト両面からインバウンド受入体制を強化します。

- ◆ インバウンド誘客の推進・受入環境の整備
- ・信州のポテンシャルを活かした海外からの誘客ルートの確立
- ・海外から選ばれる体験型観光の発掘・磨き上げ
- ・官民挙げての受入環境の整備
- ◆ 国別戦略による効果的なプロモーション
- ・重点地域と個別戦略 ・オリンピックレガシーの活用 二国間協定の活用

4 主要指標

No.	評価指標	H28 (2016)	目標値
1	延べ宿泊者数	1,780万人	2,175万人
2	外国人延宿泊者数	113.5万人	300万人
3	観光消費額	7,320億円	8,100億円
4	重点支援広域型DMO・DMCの指定数	—	10

No.	評価指標	H28 (2016)	目標値
5	来訪者満足度(国内)	18.6%	25.0%
6	来訪者満足度(海外)	43.2%	50.0%
7	山岳遭難死傷者数	211人(2017)	180人以下

主要指標の達成状況

・新型コロナウイルス感染症などにより、人流と関係性の深い指標は、達成状況に大きく影響したものと推察。

主要指標	基準値 (2016)	(2017)	(2018)	(2019)	最新値 (2020)	目標値 (2022)
延べ宿泊者数 [宿泊旅行統計調査(観光庁)]	1,780万人	1,799万人	1,832万人	1,805万人	1,124万人 ↓	2,175万人
外国人延べ宿泊者数 [宿泊旅行統計調査(観光庁)]	113.5万人	129.0万人	152.7万人	157.8万人	53.0万人 ↓	300万人
観光消費額 [観光入込客統計(共通基準)]	7,320億円	7,093億円	8,146億円	8,769億円	7,087億円 ↓	8,100億円
重点支援広域型DMO ・DMC指定数	0	0	0	1	1 →	10
来訪者満足度(国内) [来訪者満足度調査(県観光機構)]	18.6%	23.7%	25.8%	32.5%	26.7% ↓	25.0%
来訪者満足度(海外) [来訪者満足度調査(県観光機構)]	43.2%	41.2%	40.9%	37.5%	— (コロナ禍により 未実施)	50.0%
山岳遭難死傷者数 [長野県警察本部調]	211人	211	203	180	120人 ↓	180人以下

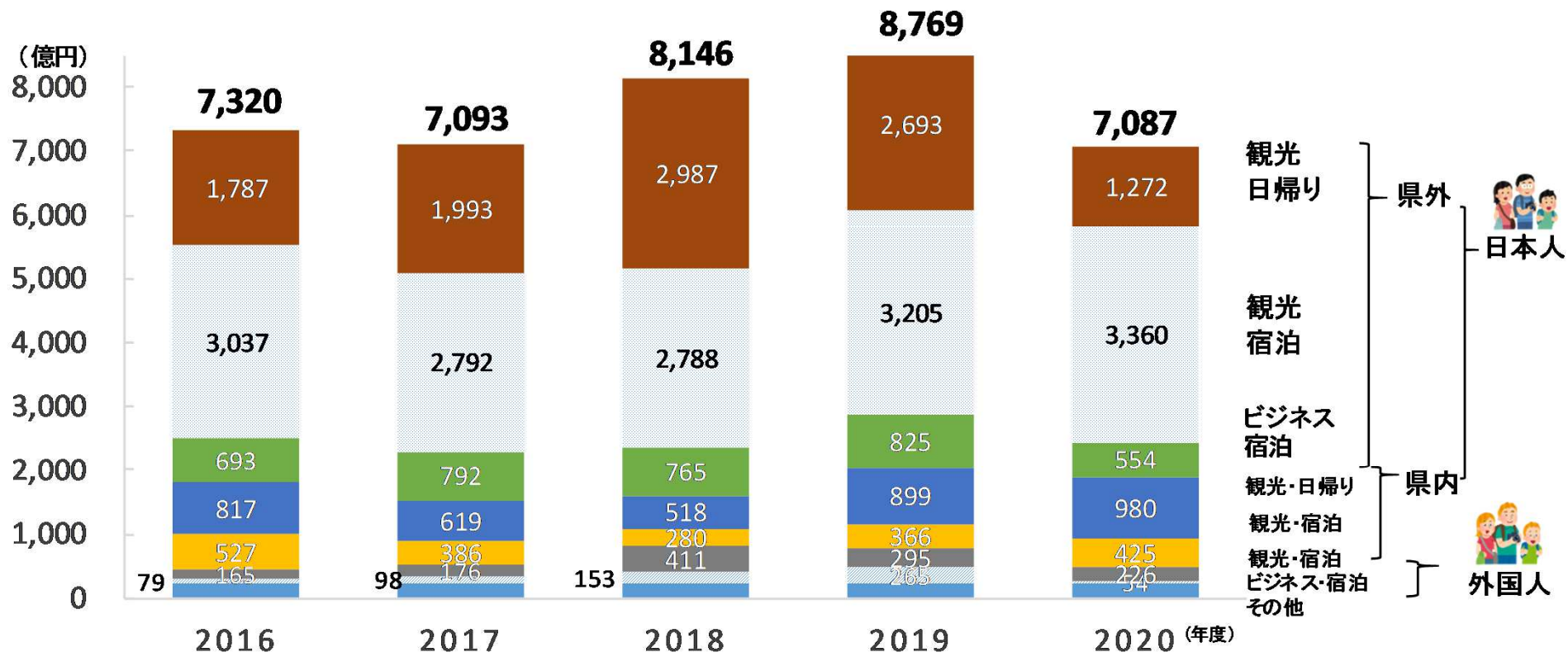
※ 矢印は対前年比

本県観光への影響と総括

- ◆令和2年の**観光消費額は、7,087億円**。雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、**前年比△1,682億円**（前年の8割程度）
- ◆日本人旅行者の消費額は6,802億円、前年比△1,405億円。外国人旅行者の消費額は285億円、前年比△277億円
- ◆来訪者数・延べ宿泊者数も減少している一方で、来訪者が1回の旅行で使う金額である**消費単価は増加**
- ◆**GoToトラベル及び県の誘客施策**が、より高価な宿泊施設の利用や地域クーポンを活用しての買い物など、消費を喚起するきっかけとなり、**消費単価の増加要因**になったものと考えられる
- ◆アフターコロナを見据え、今後は現状の**高い消費単価を維持しつつ**消費の動機付けとなるような、**長期滞在型観光の推進や信州リピーターの獲得**といった取組の一層の強化が必要
- ◆また、海外では、ワクチン接種の進行による旅行需要回復の動きもみられ、コロナ後の旅行先として日本への人気も高いという調査結果もあることから、**インバウンド回復期を見据えた戦略的な取組が必要**

長野県観光の現状

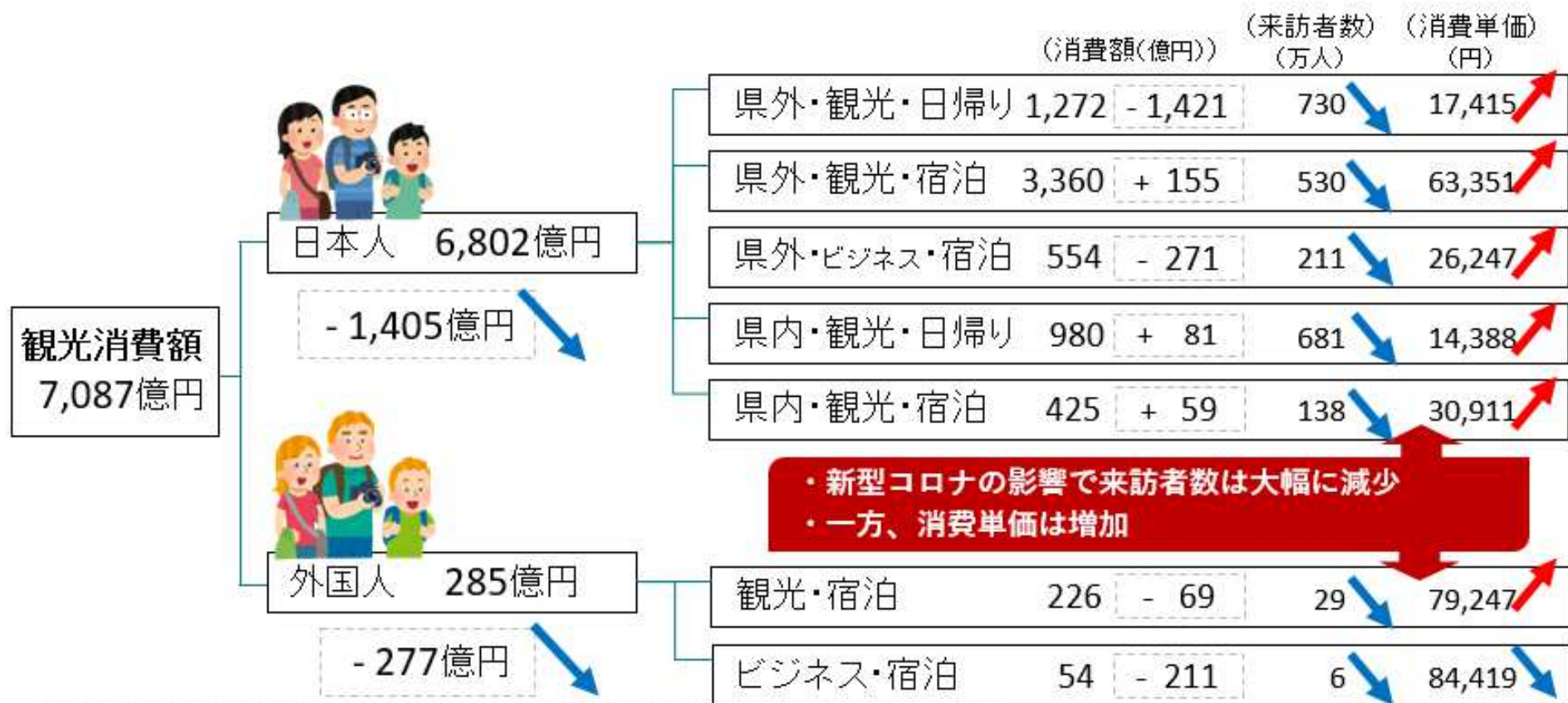
1 観光消費額の年別・属性別推移



出典: 長野県観光入込客統計(観光部)

長野県観光の現状

2 属性別の消費額・構成要素の増減



(凡例) 破線囲みは対前年比の増減数、矢印は前年と比較した増減傾向

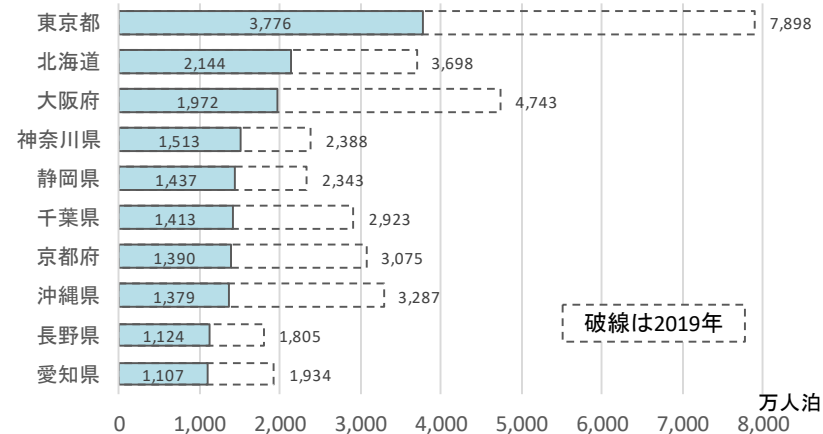
出典:長野県観光入込客統計

長野県観光の現状

3 本県の延べ宿泊者数の状況

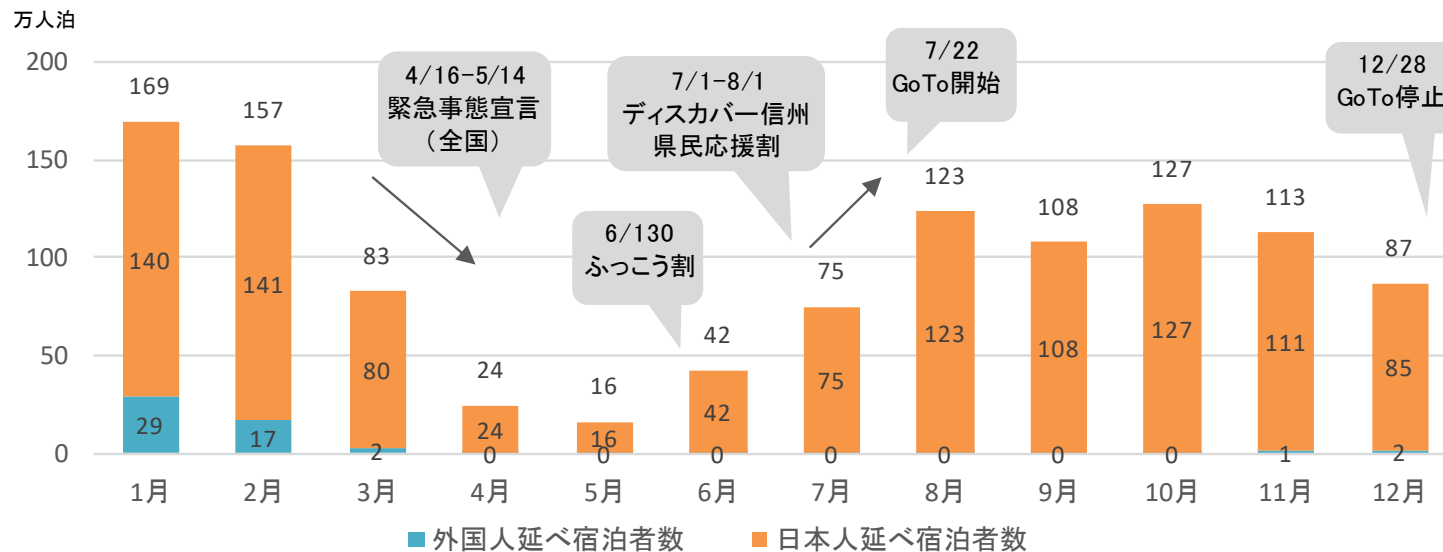
● 都道府県別の延べ宿泊者数(上位10県)

	2019年 延べ宿泊者数 (万人)	2020年 延べ宿泊者数 (万人)	対前年増減率 (%)
1 東京都	7,898	3,776	△ 52.2
2 北海道	3,698	2,144	△ 42.0
3 大阪府	4,743	1,972	△ 58.4
4 神奈川県	2,388	1,513	△ 36.7
5 静岡県	2,343	1,437	△ 38.7
6 千葉県	2,923	1,413	△ 51.7
7 京都府	3,075	1,390	△ 54.8
8 沖縄県	3,287	1,379	△ 58.0
9 長野県	1,805	1,124	△ 37.7
10 愛知県	1,934	1,107	△ 42.8
全国	59,592	33,165	△ 44.3



出典: 宿泊旅行統計調査(観光庁)

● 長野県の延べ宿泊者数の月ごとの推移(2020年)



出典: 宿泊旅行統計調査(観光庁)

長野県観光の現状

3 本県の延べ宿泊者数の状況

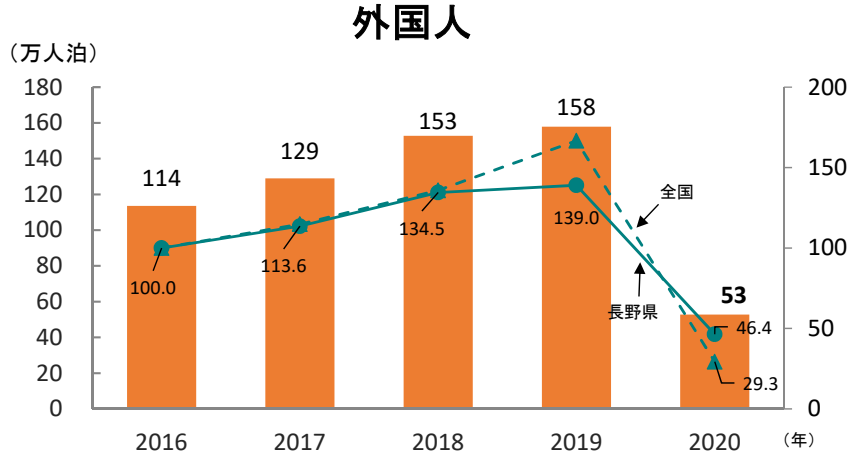
【日本人と外国人の推移】

● 延べ宿泊者数(日本人・外国人)



全国順位	7位	8位	8位	9位	9位
------	----	----	----	----	----

(折れ線は2016年を100とした場合の値:右軸)



全国順位	12位	13位	12位	13位	10位
------	-----	-----	-----	-----	-----

(折れ線は2016年を100とした場合の値:右軸)

出典: 宿泊旅行統計調査(観光庁)

● 平均宿泊数(日本人・外国人)

日本人

平均宿泊数は微減
 [2016]1.29泊 ⇒ [2020]1.28泊

外国人

平均宿泊数は増加
 [2016]1.48泊 ⇒ [2020]2.02泊

出典: 宿泊旅行統計調査(観光庁)

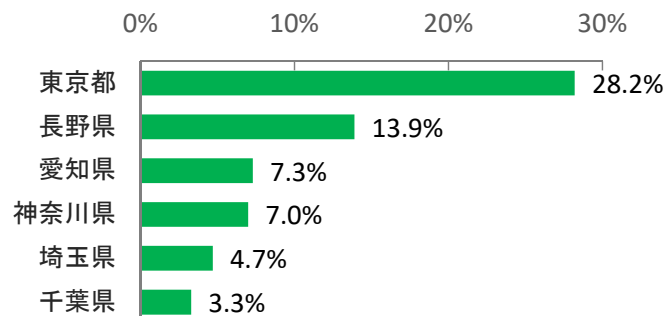
長野県観光の現状

3 本県の延べ宿泊者数の状況

【本県を訪れる観光客の特徴】

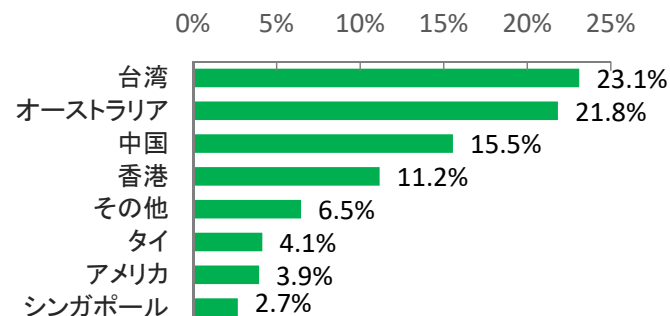
● 来訪者の居住地(日本人・外国人)

日本人



出典:宿泊旅行統計(観光庁)

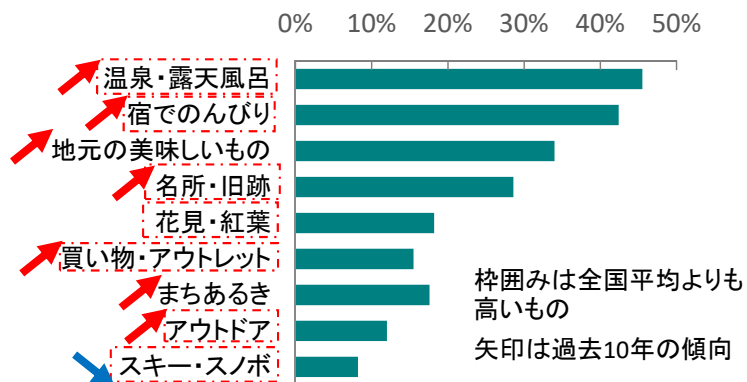
外国人



出典:宿泊旅行統計(観光庁)

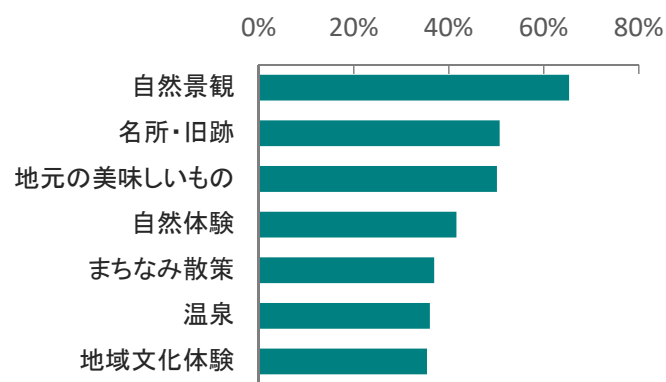
● 旅行の目的(日本人・外国人)

日本人



出典:宿泊旅行調査2020(じゃらん)

外国人



出典:2019年度来訪者満足度等アンケート調査(長野県観光機構)

長野県観光の現状

日本百名山の数 日本一



登山家、文筆家の深田久弥氏の著書参考としています。



29座

花の百名山の数 日本一



作家の田中澄江氏の著書「花の百名山」(昭和55年刊行)を参考としています。



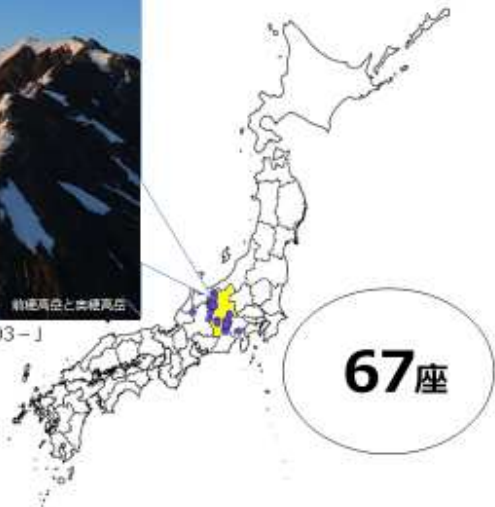
21座

山岳観光資源が豊富

日本百高山の数 日本一



国土地理院「日本の山岳標高一覧-1003-」を参考としています。



67座

標高3,000m級の山の数 日本一



国土地理院によると、日本にある標高3,000m級の山は23座とされています。

15座